

市議団速報

HP <http://www.jcp-niigata-shigidan.com> No.284

2021年12月23日
日本共産党新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748
Mail jimukyoku@jcp-niigata-shigidan.com

12月議会 一般質問

気候危機打開、ジェンダー平等など質問 新型コロナ対策、加齢性難聴対策等で質問 飯塚孝子議員 風間ルミ子議員

気候危機対策について

風間議員は、気候危機を打開するために、ジェンダー平等社会実現の取り組みについて、旧北区役所跡地の活用について、の3点で質問しました。

気候危機対策について、国の第6次エネルギー基本計画は、削減目標が低すぎること、石炭火力に依存していること、原発は最悪の環境破壊だと指摘し、それぞれについて市長の見解を求めました。

本市の気候危機対策として、断熱効果のある健康すまいリフォーム事業の拡充、省エネルギー設備機器導入の補助制度創設、もみ殻のエネルギー活用などの研究などを求めました。若杉建築部長は、健康



風間ルミ子議員

すまいリフォーム事業について、「令和4年度事業を前倒しして、12月定例会に補正予算の追加を予定している」と答えました。

ジェンダー平等社会実現へ

風間議員は、ジェンダー平等社会実現の取り組みについて、男女賃金格差の是正はジェンダー平等社会実現の土台だと強調し、企業に男女賃金格差の実態の把握と公表、及び是正計画の策定と公表を義務付けることを提案。また、女性が多く働くことを提案。また、女性が多く働くことを提案。また、女性が多く働くことを提案。

また、風間議員は、旧北区役所跡地について、葛塚市場利用者の駐車場や防災公園、イベントのできる空間として残し、にぎわいづくりや地域活性化に役立てるべきだと求めました。北区長は、「さまざまな要望を頂いているが、まずは来年4月に跡地に移転する葛塚コミュニティセンターを最大限活用してほしい」と答弁しました。



飯塚孝子議員

コロナ第6波対策、検査、ワクチン、病床確保を。後遺症対応も

飯塚議員は、新型コロナウイルスの第6波対策、認知症と加齢性難聴の早期発見と支援、国民健康保険の子ども均等割保険料の減免、ウイズコロナ・ポストコロナのがん検診のあり方、大雪時の要援護者への除排雪支援助成制度の創設などについて質問しました。

飯塚議員は、第6波対策として、感染力が強いとされるオミクロン株等のPCR検査体制の拡充・強化、3回目のコロナワクチンの円滑な接種、重症化防止と家族内感染防止の入院療養を原則とした病床の確保、後遺症に対する医療相談窓口の設置を求めました。

野島保健衛生部長は、後遺症に苦しむ市民の対応について、「後遺症を疑う患者に対する医療機関の

役割分担は不明確であったが、国や県医療調整本部の動向を注視しながら対応を検討」と答弁しました。

加齢性難聴補聴器購入助成を検討

飯塚議員は、難聴があることで認知機能の低下が1.6倍になることが明らかになったとし、認知症の早期発見と必要な支援につなぐため65歳以上の特定健診受診者の希望者に対して、市医師会と連携して認知症スクリーニング検査と聴力検査を実施できる体制をつくるべきと提案。また、中等度難聴者への補聴器購入費助成制度を創設し、適切な補聴器使用で認知機能低下を予防すべきと求めました。

野島保健衛生部長は、「補聴器使用によるコミュニケーション能力の向上、社会的活動の促進は、認知症予防において重要であり、中等度難聴者への補聴器購入助成の検討を進めている」と答弁しました。

再質問でさらに求めると、制度設計をしている旨の答弁がありました。また、今年2月議会でも求めた大雪時の要援護者への除排雪支援制度の創設について、その後の検討状況をたどりました。